



PADIスクーバ・ダイバー 声明書

PADIスクーバ・ダイバー資格は、プロフェッショナルの直接的な監督下であればダイビングができる資格です。この同意書は、プレ・エントリー・レベル認定の限度を定義し、皆さんが快適かつ安全にダイビングするのに必要な事柄について述べたものです。

私、_____（氏名を楷書で）は、PADIスクーバ・ダイバーとして以下の事項を守らなければならないことを了解しております：

1. PADIダイブマスター、アシスタント・インストラクター、またはインストラクターの直接的な水中監督下で潜る。ダイブに関する説明を注意深く聞き、ダイブ活動を監督する人のアドバイスに敬意を払う。すべてのダイブでPADIシステムを守る。
2. トレーニングを受けたときのコンディションより良い、あるいは同等のコンディションで潜る。潜ってよい最大深度は12メートルを上限とし、それ以上の深さへ潜る場合には、事前に追加指導を受ける。
3. ダイビングに適した良好な健康状態を維持し、自分の限度内で潜る。ダイビング中は動き過ぎによる疲労を避け、アルコールや薬物に酔った状態で潜ってはならない。
4. 汚染された空気を吸わないよう、エアの充填やダイビング器材は、PADIダイブ・センターやリゾートなど信頼できるところから入手する。使用するタンクにエンリッチド・エア（ナイトロックス）用と刻印されていないことを確認する。
5. ダイビング中は正しい浮力を維持する。水面でBCDに空気を入れない状態で中性浮力になるようウエイトを調節し、ダイブ中のエア消費による浮力変化を考慮に入れる。水面で何らかのトラブルが生じた場合には、ウエイトを捨て、BCDを膨らませるなどの方法で浮力を確保する。
6. PADIスクーバ・ダイバー資格の限度を超えて潜るときには、その前に継続教育を通じて正しいトレーニングを受け、経験を積む。しばらくダイビングから遠ざかっていて再開する場合には、監督者のいる管理された環境でスキルを復習する。
7. ダイビングに適した正しい呼吸をする。圧縮空気を使用しているときには、絶対に息をこらえたりスキップ呼吸をしてはならない。
8. すべてのダイブで1分間18メートル以下の速度で浮上し、終了時には安全停止をする。
9. スクーバ器材は、すべてが揃っていて身体にフィットし、きちんとメンテナンスされていて使い慣れたものを使用する。よく知らない器材や使ったことがない器材については、ダイビングのプロフェッショナルにアドバイスを求め、使い方を教えてもらう。
10. リクリエーション・ダイビングに関する現地の法律や条例に従う。
- * 11. プロフェッショナルの監督なしで潜ることが出来るオープン・ウォーター・ダイバーへ、PADIスクーバ・ダイバーとして認定された後であればいつでもアップグレードできることを理解している。
12. 安全なダイビングの実施要項から逸脱することは、減圧症、けが、死亡の危険性を高めるということを理解する。また、PADIスクーバ・ダイバーは自分自身の安全のために、上記の推奨事項を守り、不慣れた状況で潜る際には、事前に情報やアドバイスを求めるべきであることを認識する。

私は上記の声明書を読み、質問に対して十分に説明を受け、実施要項の重要性と目的を理解しました。これらの実施要項を守ることは自分自身の安全と楽しみのためであり、守らない場合には自分自身を危険にさらすことになるかもしれないということを認識しております。

_____	_____
参加者署名	日付
_____	_____
（未成年者の場合）保護者の署名	日付
_____	_____
潜水行事、活動開催者（責任者またはダイブセンター）名	日付
_____	_____
担当責任者署名	日付